

学術情報基盤オープンフォーラム

国立情報学研究所

作成日:2010年11月1日
更新日:2010年11月22日

- ◆アクセス回線共同調達について
- ◆学術情報基盤に関するアンケートの結果報告
- ◆学術情報基盤オープンフォーラム2010

アクセス回線共同調達について

目的

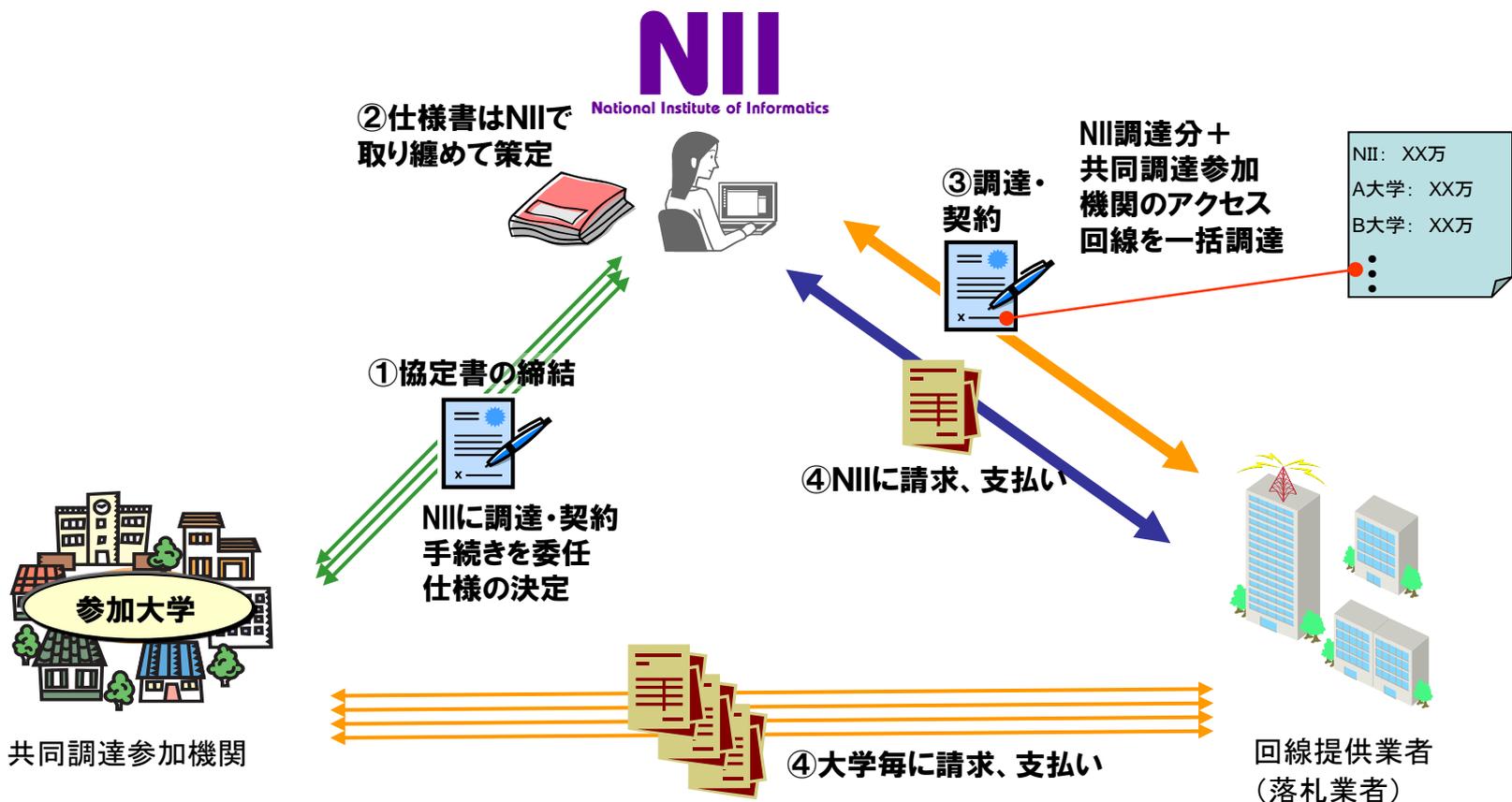
大学等（特に非ノード校）のアクセス回線について、**ダークファイバー**を用いることで、各大学が個別で契約している**100Mbps回線程度の経費で1Gbps以上の速度を実現**することを目的とする。

方法

現在、各大学が個別に業者と交渉・契約しているところを、我が国の大学等の教育・研究機関全体で**足並みを揃えること**で、**アカデミックかつボリュームディスカウント**を引き出す。

アクセス回線の共同調達方式

- ◆ NIIの調達に合わせて、アクセス回線の共同調達を行う。
- ◆ 調達・契約はNIIが代表して行なうが、支払い(請求)は個別に行う。そのため、NIIと大学の間で協定書を締結する。



第1回アクセス回線共同調達説明会参加
(H22,2,17)

115機関

アクセス回線共同調達参加機関数

20機関
(24回線)

- ◆第2回共同調達を検討中。(H23年度予算次第では中止の場合もあり)
- ◆個別に、ダークファイバー+WDM等で調達される場合の仕様書(案)も以下のURLで紹介。
<http://www.sinet.ad.jp/sinet4/access>

学術情報基盤に関するアンケート結果報告

アンケート実施について

- ◆ 学術情報基盤オープンフォーラム参加242機関へのアンケートを2010年5月13日から5月21日までの9日間に実施した。
- ◆ 目的は、各機関の各種情報基盤サービスに関する、現場と課題の調査の為
- ◆ アンケートへの回答数は137機関であった。(回答率55%)
〈国立大58校、私立大45校、高専9校、公立大7校、共同利用機関5機関、その他13機〉
- ◆ アンケートの内容
 - メールサービスについて
 - オンラインストレージについて
 - 情報システム担当者育成について
 - 学術認証フェデレーションについて

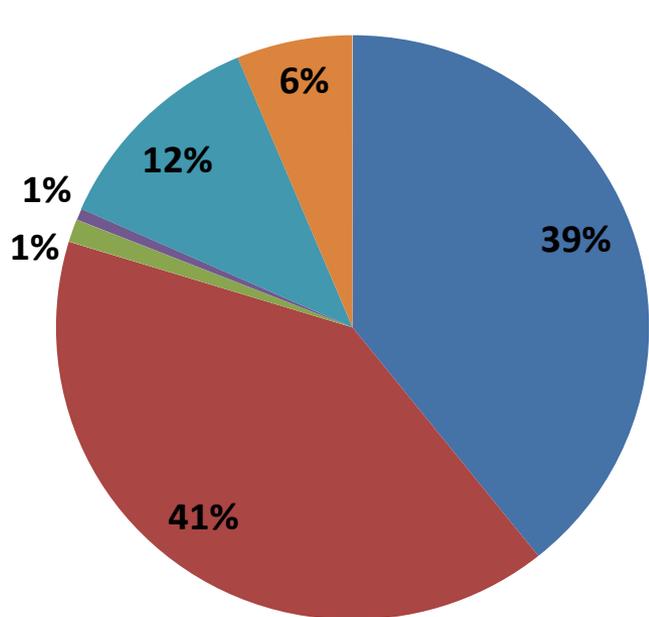
<http://www.nii.ac.jp/top/openforum/member/>

閲覧には、学術基盤オープンフォーラムの参加が必要です。

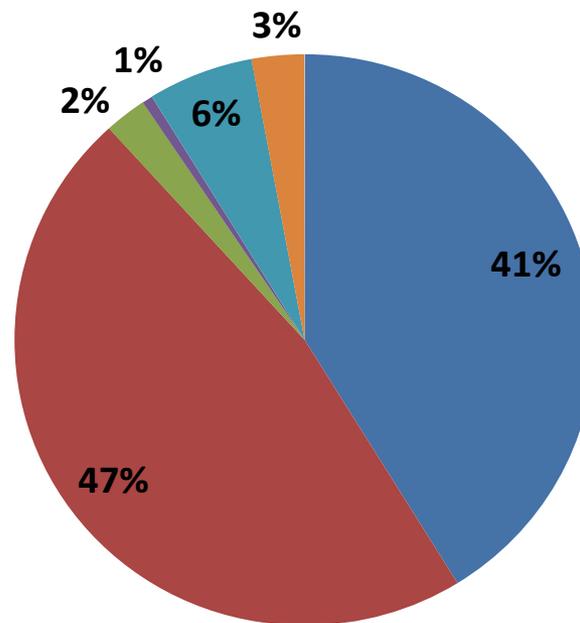
メールサービスについて(1)

- ・メールサービスは、自前管理運用が大多数(全体の約8~9割)
- ・無償ポータル系メールサービスの利用は学生が多い(教員の2倍)

ご利用のメールサービス形態について



学生用



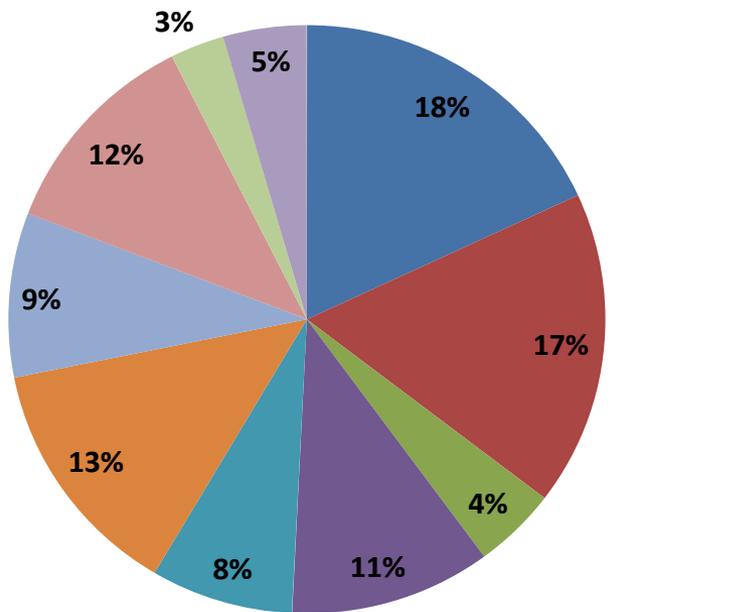
教職員用

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| ■ 有償パッケージ | ■ オープンソースシステム | ■ ホスティングサービス |
| ■ 有償クラウドサービス | ■ 無償ポータルサイト系 | ■ その他 |

メールサービスについて(2)

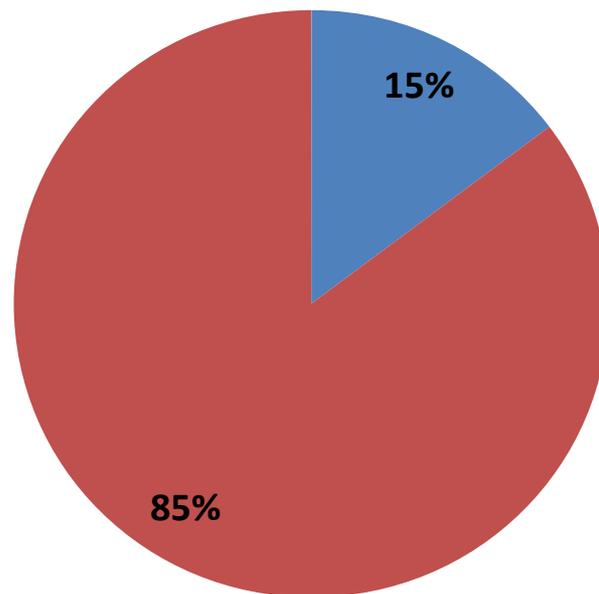
- ・課題の上位は、ID管理や運用で合わせて3割強
- ・メールサービスをアウトソースしている機関は15%

メールについて課題はありますか



- ID管理
- 運用面(問合せ/トラブル対応)
- システムが複数存在し、ポリシー統一の不備
- 機能が不足
- 可用性の問題
- セキュリティの確保
- 信頼性の問題
- 費用の問題
- 特にない
- その他

メールシステムのアウトソースサービスを利用していますか

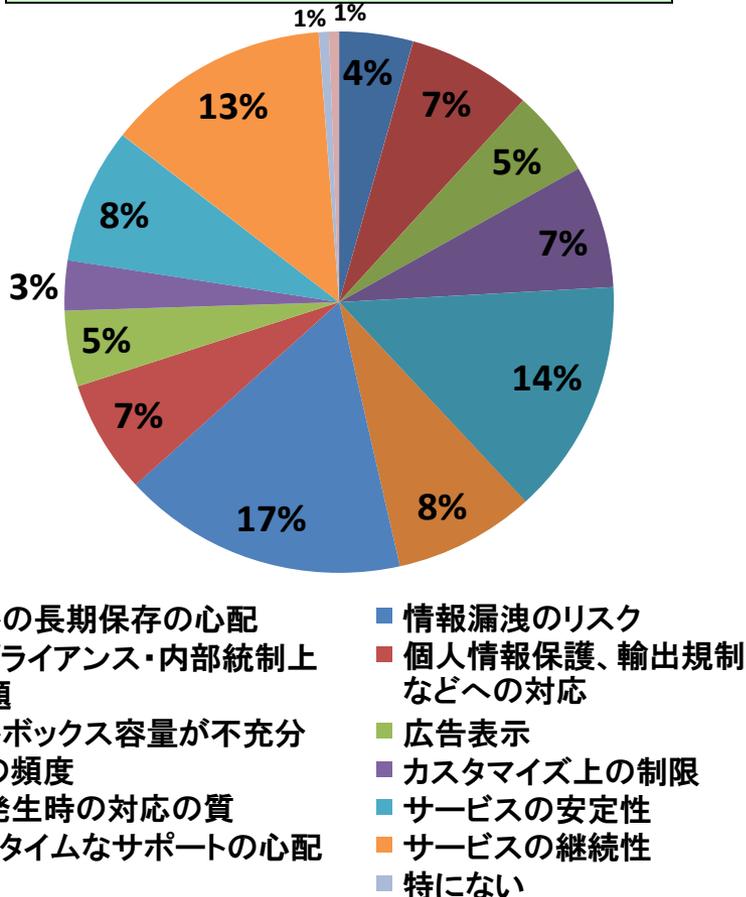


- はい
- いいえ

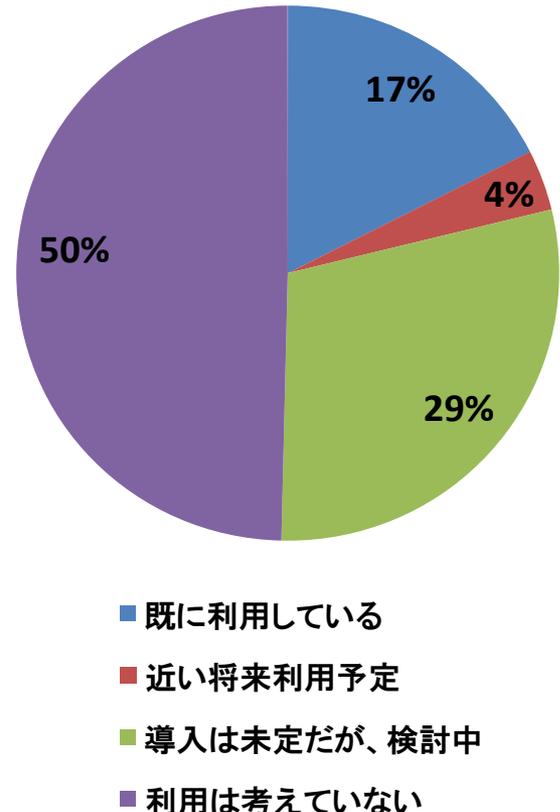
メールサービスについて(3)

・クラウド型メールサービスに対する懸念は、情報漏洩がトップ
 ・利用に対して前向き(利用中～検討している)と考えていないが半々

クラウド型メールサービスに対して懸念することは



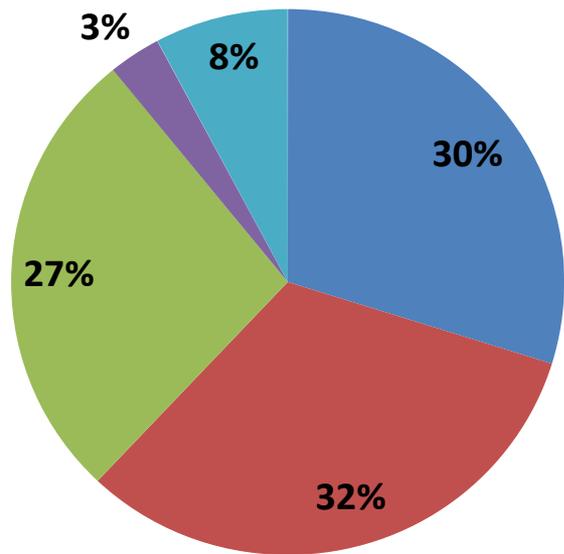
ポータルサイト系無料メールサービスの利用検討について



情報システム担当者育成について

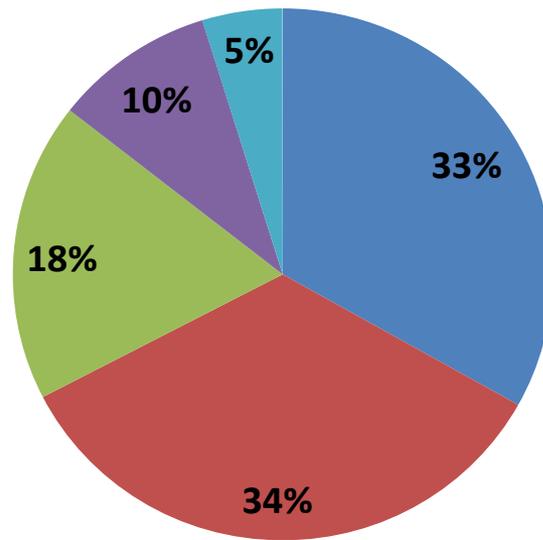
- ・情報システム担当者育成の課題としては、人事面が6割、研修制度が3割
- ・採り入れたい育成方法としては、他機関との合同・連携が7割

情報システム担当者の育成の課題について
(複数選択可)



- スキル・実績の評価基準が不明確
- キャリアパスが未設定
- 研修制度が不十分
- 特に困っていることはない
- その他

他機関の連携による、情報システム担当者の育成で採り入れたい方法について



- 他機関と合同の研修講座を開く(講師は機関内でアサイン)
- 他機関から講師を招く、また他機関へ派遣も行う交流
- 教材のみ他機関と共有する
- 機関間の連携には関心が無い
- その他

学術情報基盤オープンフォーラム2010

【日時】 平成22年11月10日(水) 10:30-16:30

【場所】 一橋記念講堂 東京都千代田区2-1-2 学術総合センター 2F

【概要】 午前の部

国立情報学研究所で行っている学術情報基盤に関する議論や活動の報告、
今後の取り組み等の紹介、意見交換

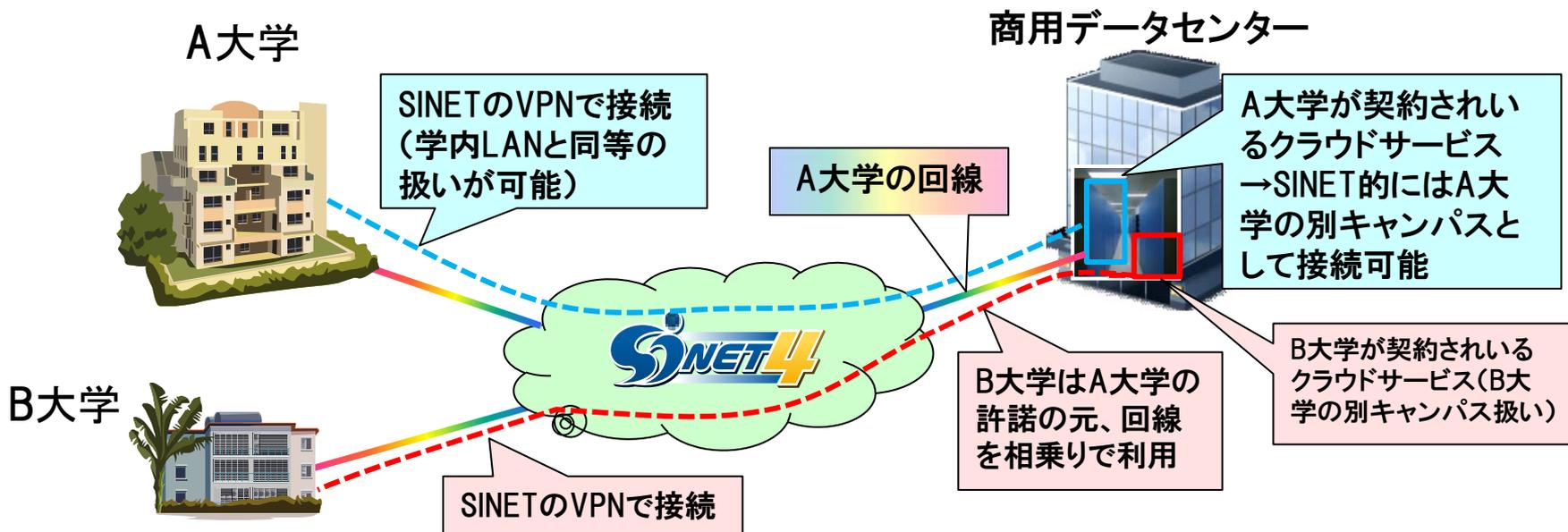
- 学術情報基盤ネットワーク運営・連携本部 企画作業部会について
- コミュニティ連携・人材育成グループについて
- 最先端サービスグループについて
- 認証基盤グループについて

午後の部

各大学等での上位レイヤ関連の取り組みや、新たに国立情報学研究所で
取り組んでいる事項と民間企業からクラウド化による情報基盤を取り巻く現
状等の紹介

- 東京農工大学における国内メールクラウドサービスシステムの活用
- 金沢大学における統合認証基盤・全額ポータル整備
- 高エネルギー物理学におけるe-Science実践事例の紹介
- クラウドを使って学べる edubase Cloud
- 学術認証フェデレーションが創る情報サービス・イノベーション
- セキュリティオペレーション事業者から見るクラウドの現状と対策
- クラウドコンピューティングで実現する教育情報基盤のあるべき姿

- ◆ 商用のプライベートクラウドサービスと大学とをSINETで直接結ぶことは可能です
- ◆ ただし、商用クラウドサービスは民間企業ですので、以下の制約があります
 - 大学様の契約されたクラウドサービスと、大学とのVPN接続とさせていただきます
 - 商用クラウドサービスのデータセンターからSINETまでの回線は大学様でご用意します
- ◆ SINETとしては、サテライトキャンパスが商用クラウドサービスのデータセンターにある形として取り扱いさせていただきます
- ◆ 複数の大学での回線の相乗りも可能ですが、回線の代表者(責任者)をお決めください



- ◆ H23年1月頃
大学におけるクラウド導入事例をベースにした取り組みの紹介
クラウド導入を検討するにあたってヒントとなる「事例紹介」

- ◆ H23年2月頃
第2回共同調達説明会
(予算等の事情により開催されない場合もあります)

- ◆ H 23年6月頃
学術情報基盤オープンフォーラム2011(夏)

- ◆ H23年後半
東京以外での学術情報基盤オープンフォーラム(コンパクト版(仮称))